

モニタリング結果報告書

施設 県立座間谷戸山公園

指定管理者 (財) 神奈川県公園協会

施設所管課 神奈川県相模原土木事務所

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月15日	指定管理者1年目の目標、収支、維持管理等
5月	6月10日	6月15日	収支、維持管理状況等、イベント状況
6月	7月10日	7月21日	収支、維持管理状況等、イベント状況
7月	8月10日	8月18日	収支、維持管理状況等、イベント状況
8月	9月10日	9月17日	収支、維持管理状況等、イベント状況
9月	10月9日	10月19日	収支、維持管理状況等、イベント状況

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

- ・利用者の為の園内施設の有効活用: ①既設炭焼き小屋の補修②里山体験館内部の様式替え

< 実施状況 >

①開園当初に作られ、老朽化した炭焼き小屋をリニューアルし来園者見学用に炭が出来るまでの解説看板を新設した。

②里山体験館に昔の農業道具が展示してある土間の一部を配置変えて見易くした。このことにより、昔の農耕具展示博物館的にして子供たちに伝えていく実践活動をした。

< 提案内容の概要 >

- ・地元やボランティアとの連携事業の実施: ①ひまわりによる夏期利用の促進。

< 実施状況 >

- ① 夏の閑散期の来園者増対策として、従来から実施していた東口広場ヒマワリ植栽をボランティア団体「花植え隊」によりさらに拡大し周囲にも植えた。従来の花壇の花と調和が取れ利用者の目を楽しませている。(ひまわり推進協議会で市の花「ヒマワリ」を市内4箇所の農地に植栽し、夏期の集客を計っている。)今回公園利用者に評判の良いひまわりで、これからも夏期の公園利用活性化を図りたい。

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	59,000	59,000		59,000	0
下半期計 (b)			( )		
上半期計 (a)	28,664	28,664	( )	25,685	2,979
4月	4,051	4,051	( )	3,200	851
5月	4,087	4,087	( )	4,107	△20
6月	6,838	6,838	( )	4,927	1,911
7月	4,882	4,882	( )	4,854	28
8月	3,973	3,973	( )	4,437	△464
9月	4,833	4,833	( )	4,160	673
合計 (a+b)	28,664	28,664		25,685	2,979

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

支出残額が上半期は、2,979千円あるが、植物管理費で園路沿いの支障高木や古損木・高枝が意外に少なく台風シーズン後の各園内重点パトロールや再調査と併せ処理予定計画を立て後期に樹林ゾーンの間伐と併せ業務発注を予定している。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
下半期計 (b)	人	人	%
上半期計 (a)	207,228人	193,972人	6.8%
4月	34,644人	32,786人	5.7%
5月	33,233人	32,005人	3.8%
6月	37,474人	31,372人	19.5%
7月	34,479人	33,525人	2.8%
8月	33,871人	31,795人	6.5%
9月	33,527人	32,489人	3.2%
合計(a+b)	207,228人	193,972人	6.8%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	2	0	0	0	0	2
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	1	0	1	2
7月	0	0	1	0	1	2
8月	0	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	0	1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・湿生生態園の池がヘドロで汚い	県や運営会議で調整
	・野鳥観察小屋が一部のカメラマンで独占されている。	管理職員や運営会議メンバーによる注意や啓蒙ポスターで対応している。
職員対応		
事業内容		
その他	・水鳥の池に野鳥が少ない	池の改修後で様子を見ている。
	・ホームレスの行動が迷惑です。	管理員がその都度注意している。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
	特になし。
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
4月12日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	イベントは、天候良く好評。 里山保全体ボランティアが、多かった。
5月7日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	各イベントとも、天候恵まれ好評。 自然観察会参加者多数。
6月14日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	各イベントとも、天候恵まれ好評。 花植隊など楽しく参加され多数。
7月16日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	各イベントとも、毎年好評。 総合学習として小学生多数参加。
8月6日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	各イベントとも、毎年の行事で好評。 親子米作隊等多数参加。
9月18日	相模原土木	イベント実施状況 ボランティア活動状況	各イベントとも、毎年の行事で好評。 手作灯展等夕暮れ以降多数参加。

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>公園の維持管理については毎月開かれている“運営会議”の中では、今後の谷戸山各ゾーンエリアの管理が議題の1つであり、樹林地の環境改善検討、園路沿いの植物管理等協議・実施をしている。又水鳥の池奥の南谷戸棚田を利用する生物に配慮した、効率的かつ効果的な管理方法を探るべく、各ボランティア団体の得意分野を活かして、公園側と共同して管理作業、モニタリング調査を進めているところである。9月上旬には園内重点パトロールも実施し老朽化し危険な施設の修繕・補修や危険な高木、古損木・枝等抽出したが、今後もなお、調査・検討し、上半期の植物・施設管理残額の適正な消化を計る。</p> <p>公園利用の促進については、ホームページ、メディアへの情報発信、草花・昆虫類等自然情報等の園内掲示等の充実を図った。公園入口の花壇管理にも努力し、来園者に喜ばれている。</p>
施設所管課	<p>座間谷戸山公園においては、自然生態観察公園としての基本となる樹林地維持管理について、運営管理マニュアルでゾーン別に方針が定められているが、各ボランティアを統括する運営会議を月1回開催し、意見集約しながら実践していることは、非常に困難であるにもかかわらず、前向きに努力していることは大変評価できる。</p>

## モニタリング結果報告書様式

	<p>月毎に変わる各種イベントも低学年から大人まで年齢別に好評であり、総体的に好評で利用者増になっていることは、指定管理者の運営が計画どおり順調に進んでいて日頃の努力や工夫の現われで、非常に評価できる。</p> <p>下半期も年間最大イベント谷戸山公園まつりが控えているため、より一層の工夫や来園者増を期待したい。</p> <p>上半期全体を通じて、各団体ボランティアを活用した各種イベントなどでの工夫の結果が公園利用者増につながったことは、指定管理業務と運営を良く遂行していると考察している。</p>
--	---